

## 若い世代の定住は 何が決め手!?



当市の人口減少と子育て支援について



議員

常総市の人口は合併してから4000人ほど減少している。住んでみたいという魅力がなければなかなか来てもらえない。

企画課長

高齢者向け・子育て世代向けの市営住宅の整備を総合戦略の中で今後検討していく。

議員

就業・雇用の機会だけでなく、定住を促進することも大切ではないかと思う。次に子育て支援対策について、当市には出産一時金、出産祝金の制度があるが、それで出産のときに事足りるかなかなか現実に難しいという話も聞いている。

市長

市の子育て支援政策として、すくすく医療費(高3まで拡大)、不妊治療の助成、常総ほっとサタデー教室等を行っている。

議員

継続した切れ目のない支援が必要である。出産祝金は他市町村を見習うのではなく、もうちょっと拡大できないか。これは要望である。常総市に定住していただけるような、そして若い世代を常総市に迎え入れられるような施策に努力していただきたい。



## アグリサイエンスバレー構想 私には読み切れぬ

常総インターチェンジ周辺整備事業(アグリサイエンスバレー構想)について

議員

議会でアグリサイエンスバレー構想が最初発表されたとき、大変いい構想だと言う人もいたし、ハードルが高くて難しいのではと言う人もいた。その中で議員の中から8名を選出し検討会議をつくった。しかし、一方的にどんどん執行部が進めていて、私たち検討会議の話なんか何も聞き入れてなかったというのがこれまでの経過である。この事業は全国でも珍しく初めての事業計画で、上限5億円を市民の皆さんの血税で負担する予定になっている。農業産業を活性化させてやるという話だが、理解できない部分がある。まず

①検討会議後の経過と状況について、②地権者の同意と要望について、③この構想について変更を考えているか、以上を尋ねる。

都市建設部長

①これまで検討会議を5回開催してきたが、今後は議員全員協議会に一本化し、その中で事業に関する説明をし、ご意見・

ご指導を賜りたい。②地権者104名のうち95名の賛同を得た。農地を貸すと回答した90名のうち83名の方は新たな借り手を希望されている。③構想そのもの変更は考えていない。

議員

この構想がだめになったら測量費用も市で立て替えるのか。

産業拠点整備課長

戸田建設の欠損金になるかと思う。

議員

立て替えという説明をしている、なぜ最初から戸田が負担すると書かないのか。誰も負担するなんて理解していないと思う。皆さんの代弁者として使ってもらっている以上、軽々に賛成とは私には言えない。

遠藤 正信 議員

水野 昇 議員



圏央道常総インターチェンジ周辺